

第八條 本程式ハ明治二十三年度ヨリ施行ス

凡例

- 一 計算書ヲ受授スルモノハ其年月日ヲ各自表紙ニ記載スヘシ
- 二 用紙ハ總テ緊率ナルモノヲ用ユヘシ
- 三 現在品ノ内各地送還中若クハ寄買契約未済品等アル時ハ其事由ヲ備考ニ掲載スヘシ
- 四 現在ノ部工場又ハ事務所ノ區ニハ備品若クハ製作中ニ係ル材料及蓄品等ヲ掲載スヘシ
- 五 物品會計官吏交代其他事故ニ依リ一年度ヲ通セサルモノアル時ハ何年度トアルヲ何年月日ヨリ何年月日迄トスヘシ
- 六 鐵道物品ハ排ノ部消耗及賣排ノ區ヲ何々ノ爲メ消耗又ハ何々ニ賣排ト區分記載スヘシ
(書式等ス)

〔二十五〕歳入歳出外現金出納證明規程 明治二十四年三月九日

明治二十三年勅令第三十五號ニ據リ歳入歳出外現金出納證明規程左ノ通定ス

歳入歳出外現金出納證明規程

- 第一條 明治二十三年勅令第三十五號ニ據リ出納官吏ノ證明スヘキ歳入歳出外現金出納計算書ハ左ノ書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 出納證明上證據書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ
 - 一 受入金ニ對シテハ命令書又ハ決議書
 - 二 仕拂金ニ對シテハ正當受取人ノ領收證書
- 第三條 前條ノ證據書類ハ受入仕拂ニ大別シ計算書ニ掲グル事項毎ニ區分編纂シ其表紙ニ金額ノ合計及ヒ證據書類ノ枚數ヲ記載スヘシ但シ一事項ノ證據書類少ナルモノハ合算スルモ妨ナシ

勅令第三十五號ハ第百六ノ一項ニ掲ク

第四條 下検査官吏ハ計算書及ヒ證據書類ノ下検査ヲ完了シ翌年度六月二十五日以内ニ其麗ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送附スヘシ

第五條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 計算書及ヒ證據書類ノ件名册數
 - 二 現金出納計算書ト出納帳簿及ヒ計算書ノ殘額ト現存額トノ符合ヲ認メタル保證但シ當該下検査官吏ニテ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ以テスルコトヲ得
 - 三 計數正確ノ保證
 - 四 法規ニ背反シ又ハ事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ理由及ヒ金額
- 第六條 證據書類中必要ノモノニシテ検査終了ノ上返付ヲ要スルモノアルトキハ其提出ノ際之ヲ會計検査院ニ請求スヘシ
- 第七條 歳入歳出外現金出納ノ證明ニ關スル審理書又ハ其報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ
(表式等ス)

〔二十六〕郵便爲替金郵便貯金出納計算證明規程 明治二十四年三月三十日

郵便爲替金郵便貯金出納計算證明規程 會計検査院達第三號

郵便爲替金郵便貯金出納計算證明規程

- 第一條 郵便爲替貯金出納官吏ノ證明スヘキ計算書ハ爲替貯金出納ニ係ルモノハ第一號書式ニ貯金出納ノミニ係ルモノ
- ハ第二號書式ニ依リ之ヲ調製シ年度經過後二箇月以内ニ郵便爲替貯金局長ニ送付スヘシ
- 郵便爲替貯金局長ハ第三號書式ニ依リ爲替貯金總計算書ヲ調製シ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ年度經過後五箇月以内ニ前項計算書ト共ニ下検査官吏ニ送付スヘシ
- 第二條 出納證明上證據書類トシテ郵便爲替貯金局長ノ提出スヘキモノ左ノ如シ

第十一類 第一章 會計 出納

- 一 第四號書式ニ依リ郵便為替取扱所ニ於テ調製シタル為替貯金精算書
- 二 第五號書式ニ依リ郵便貯金預所ニ於テ調製シタル貯金精算書
- 三 為替貯金監督員ノ執行シタル實地検査ノ證明書
- 四 第六號書式ニ依リ調製シタル外國為替金明細書
- 第三條 下検査官吏ハ計算書證據書類ノ下検査ヲ完了シ翌年度九月十五日以内ニ其應ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ
- 第四條 下検査書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 - 一 計算書及證據書類ノ件名冊數
 - 二 計數正確ノ保證
 - 三 法規ニ背反シ及事實ニ適合セズト認定セシ事項ノ事由及金額
- 第五條 審理書及報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

第六條 本規程ハ明治二十三年度ヨリ施行ス

(書式等ス)

〔二十七〕各會社收入支出決算證明規程 明治二十三年十二月二十八日

- 政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社收入支出決算證明規程左ノ通定ム
- 政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社收入支出決算證明規程
- 第一條 政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ別紙書式ニ據リ收入支出計算書ヲ調製シ毎期經過後三箇月以内ニ之ヲ其主管廳ニ送付スヘシ
- 第二條 收入支出計算書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ
 - 一 收入支出豫算書

二 毎期實際報告書

三 命令書ノ定ムル所ニ依リ特ニ主管廳ノ認可ヲ經テクハ更正ヲ命セラレタル事項アルトキハ其書類

第三條 收入支出ニ關スル證據書類ハ收入報告書領收證書契約書其他收支ノ事實ヲ確認スヘキ書類トス但其提出ヲ要スルモノハ會計検査院特ニ之ヲ指定スヘシ

第四條 主管廳ノ下検査官吏ハ收入支出計算書ノ下検査ヲ執行シ其受領ノ日ヨリ二十五日以内ニ其應ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第五條 下検査書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 計算書及附屬書類ノ件名冊數
- 二 計算書各科目ノ金額ト帳簿及證據書類ノ金額ト對照ノ頭末但下検査官吏ニ於テ事實執行シ難キトキハ他ノ官吏ヲシテ之ヲ調査セシメ其調査ヲ以テスルコトヲ得
- 三 計算ノ當否
- 四 法令規約ニ背反セシト認定シタル事項ノ事由及金額
- 五 營業上不適當ト認メタル事項

第六條 會計検査院ヨリ各會社ニ對スル審理書及其報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

計算書書式ハ別ニ頒ツ (書式略ス)

〔二十八〕公共事業費並決算證明規程 明治二十三年十月二十八日

- 政府ヨリ補助金ヲ受クル公共事業費決算證明規程左ノ通定ム
- 政府ヨリ補助金ヲ受クル公共事業費決算證明規程
- 第一條 政府ヨリ補助金ヲ受クル北海道廳府縣郡區市町村ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ左ノ書式ニ據リ毎年度受拂計算書ヲ調製シ年度經過後九箇月以内ニ之ヲ其主管廳ニ送付スヘシ

第二條 受拂計算書ニハ地方議會ニ報告シタル補助金ヲ受クル事業ニ關スル收支決算報告書ヲ添付スヘシ

第三條 受拂計算書ニハ一事項毎ニ其費額ヲ大別掲上シ尚ホ必要ノ場合ニ於テハ適宜之ヲ細分シ其性質ヲ明示スヘシ

第四條 受拂ニ關スル證據書類ハ領收證書契約書及工事ノ竣効明細書其他受拂ノ事實ヲ確認スヘキ書類トス但其提出ヲ要スルモノハ會計検査院特ニ之ヲ指定スヘシ

第五條 主管廳ノ下検査官吏ハ計算書ノ下検査ヲ執行シ其受領ノ日ヨリ二十五日以内ニ其廳ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第六條 下検査書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 計算書及附屬書類ノ件名冊數
- 二 計算書各科目ノ金額ト帳簿及證據書類ト對照ノ頭末但下検査官吏ニ於テ事實執行シ難キトキハ他ノ官吏ヲシテ之ヲ調査セシメ其調査ヲ以テスルコトヲ得
- 三 計算ノ當否
- 四 法規ニ背反シ若クハ事實ニ適合セスト認定シタル事項ノ事由金額

第七條 會計検査院ヨリ各證明者ニ對スル審理書及其報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

〔二十九〕租稅外諸收入會計規則検査員ノ任命並本廳大臣及事務官管理廳ノ職務道廳長官

府縣知事執行方 明治二十三年八月二十一日

大藏省訓令第六百二十號北海道廳府縣

明治二十二年當省訓令第六十六號ニ依リ取扱フ租稅外ノ諸收入ニ係ル會計規則第九十條第九十一條第一項第九十二條検査員ノ任命並同第九十五條第九十六條第九十七條第九十九條第一百條ノ本廳大臣及事務官管理廳ノ職務ハ道廳長官府縣知事ニ於テ執行スヘシ(二十四年三月訓令第十三號ヲ以テ)並

〔三十〕歲入概算月額金庫區分表調製送付方

明治二十二年十二月二十一日
大藏省訓令第七十五號北海道廳府縣

訓令第六十六號
八初編第百三十二項ニ掲ク

毎年度歲入概算月額金庫區分表左ノ通り調製シ二十二年三月間令第十二號第一條毎年度歲入概算書ト共ニ送付スヘシ

〔三十一〕北海道廳及府縣廳ニ於テ當省所管歲入收納取扱

北海道廳及府縣廳ハ左ノ場合ニ於テ當省所管歲入ノ收納ヲ取扱フヘシ

陸軍省所轄ノ地所其他物件ノ賣却代又ハ貸下料ノ徵收ヲ(屯田兵司令部若クハ)近衛師團監督部ヨリ委任セシトキ

四年三月訓令甲第四號ヲ以テ(屯田兵司令部若クハ)ノ九

字ヲ削リ(近衛師團)ノ下(及普及)ノ四字ヲ加フ

前項ノ取扱ハ明治二十二年十一月大藏省訓令第六十六號ニ準スヘシ但測定簿報告書及收入官吏ノ毎月收入報告書並ニ會計規則第九十五條ノ計算書ハ委任シタル(屯田兵司令部若クハ)近衛師團監督部ヘ送付スヘシ同

〔三十二〕森林會計決算證明順序中更正刪除

明治二十一年四月當省訓令第十六號 大林區署ハ林

又ハ(昭納下戻)ノ六字第三號書式ニ據リ科目更正ノ下及下戻金ノ四字及第十九條ヲ刪除シ第二十條第十九條ニ繰上ケ

第三號書式中下戻金ニ係ル部分ヲ刪除ス

〔三十三〕官有土地森林原野收入金徵收規程ヲ定ム

明治二十四年三月二十日 農商務省訓令第十二號北海道廳府縣大林區署(內務

大臣)

官有土地森林原野收入金徵收規程左ノ通相定メ明治二十四年四月一日ヨリ施行ス

但明治十九年八月農商務省訓令第十三號 大林區署ハ農商務省達第二六五號 本規程施行ノ日ヨリ廢止ス

官有土地森林原野收入金徵收規程

第一條 官有土地森林原野ヨリ生スル諸收入金ハ此規程ニ依リ徵收ス

第二條 諸貸付料諸賣拂代ノ徵收期ハ左ノ各項ニ據ル

第十一類 第一章 會計 出納

訓令第六十六號
八初編第百三十二項ニ掲ク

十九年訓令第十三號ハ第百三十二項ニ掲ク
五項ニ掲ク

- 第一項 年ヲ以テ設定シタル諸貸付及ヒ土石賣排契約ニ屬スル料金及ヒ代金ハ甲年四月ヨリ乙年三月マテ第一期トシ甲年四月中ニ徴收ス但四月以後新ニ貸付又ハ賣排契約ヲ設定シタル者ハ初期分ニ限リ契約設定ノ日ヨリ三十日以内ニ徴收ス
- 第二項 年ヲ以テ設定シタル諸產物賣排契約ニ屬スル代金ハ其年一月ヨリ十二月マテ第一期トシ其年一月中ニ徴收ス但一月以後新ニ賣排契約ヲ設定シタルモノハ初期分ニ限リ契約設定ノ日ヨリ三十日以内ニ徴收ス
- 第三項 月又ハ日ヲ以テ設定シタル諸貸付契約ニ屬スル料金ハ契約設定ノ日ヨリ三十日以内物件使用前ニ徴收ス
- 第四項 臨時ノ賣排契約ニ屬スル代金ハ契約設定ノ日ヨリ三十日以内物件交付前ニ徴收ス
- 第三條 有期設定ニ屬スル諸貸付料及ヒ諸賣排代ノ徴收額算定方ハ左ノ各項ニ據ル
 - 第一項 年ヲ以テ設定シタル諸貸付及ヒ土石賣排契約ノ四月ニ起リ若クハ三月ニ滿期トナルモノハ全年分ヲ算定シ五月以後ニ起リ若クハ二月以前ニ滿期トナルモノハ月割ヲ以テ算定ス
 - 第二項 年ヲ以テ設定シタル諸產物ノ賣排契約ハ初期終期ヲ問ハズ總テ全年分ヲ算定ス
 - 第三項 月ヲ以テ設定シタル諸貸付契約ハ初月終月ヲ問ハズ總テ全年分ヲ算定ス
- 第四條 有期設定ニ屬スル諸貸付及ヒ諸賣排契約ノ該期限中解除シタルトキ其料金及ヒ代金免除方ハ左ノ各項ニ據ル
 - 第一項 年ヲ以テ設定シタル諸貸付及ヒ土石賣排契約ヲ政府ノ都合ニ依リ解除シタルトキハ其月ヨリ免除シ對手人ノ都合又ハ契約違反ニ依リ解除シタルトキハ其翌月ヨリ免除ス
 - 第二項 年ヲ以テ設定シタル諸產物ノ賣排契約ヲ政府又ハ對手人ノ都合ニ依リ解除シタルトキハ該期ニ物件ヲ採取セシヤ否ヤヲ調査シ採取前ナレハ其年ヨリ代金ヲ免除シ採取後ナレハ物件ノ年額數量ヨリ採取數量ヲ扣除シタル殘數ニ應ジテ免除シ對手人ノ契約違反又ハ季節物ノ賣排ニシテ解除ノ當時既ニ季節經過シタルトキハ其翌年ヨリ免除ス
- 第三項 月ヲ以テ設定シタル諸貸付契約ヲ政府ノ都合ニ依リ解除シタルトキハ其月ヨリ免除シ對手人ノ都合又ハ契約

訓令第十號ハ
初編第百三十三
二ノ三十九項
ニ掲ク

訓令第十二號ハ
初編第百三十三
二ノ二項ニ
掲ク

- 違反ニ依リ解除シタルトキハ其翌月ヨリ免除ス
- 第四項 日ヲ以テ設定シタル諸貸付契約ヲ政府又ハ對手人ノ都合ニ依リ解除シタルトキハ其日ヨリ免除ス
- 第五條 此規程ニ依リ徴收シタル收入金ノ年度編入方ハ左ノ各項ニ依ル
 - 第一項 徴收期月ノ一定シタルモノハ該徴收期月ノ屬スル年度ニ編入ス
 - 第二項 徴收期月ノ一定セサルモノハ納入告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度ニ編入ス但納入告知書ヲ發セサルモノハ現金ヲ領收シタル日ノ屬スル年度ニ編入ス
- 〔三十四〕森林收入既納金年度拂戻ノ訓令ヲ廢ス 明治二十二年六月十九日 農商務省訓令第三十二號府縣(沖繩縣ヲ除ク)大林區署 明治二十一年三月當省訓令第十號(大林區署ハ林第一二六號)四達ハ本年三月三十一日限リ廢止ス
- 〔三十五〕農商務省所管免許料手数料鑛山借區稅徵收順序 明治二十三年二月十五日 農商務省訓令第六號北海道府縣 當省所管免許料手数料鑛山借區稅徵收順序左ノ通相定メ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス 但豫算ニ關スル事項ニ限リ明治二十四年度ヨリ本順序ニ據ル
- 農商務省所管免許料手数料鑛山借區稅徵收順序
 - 第一條 農商務省所管免許料手数料鑛山借區稅ノ徵收ハ此順序ニ據リ北海道府縣ニ於テ之ヲ取扱フヘシ
 - 第二條 收入豫算ハ明治二十二年三月閣令第十二號放入放出豫算概定順序及同年四月大藏省訓令第二十一號様式ニ據リ調製シ前々年度二月二十八日迄ニ農商務省ヘ送付スヘシ
 - 第三條 放入概算月額金庫區分表ハ明治二十二年十二月大藏省訓令第七十五號ニ據リ調製シ毎年度放入概算書ト共ニ農商務省ヘ送付スヘシ
 - 第四條 農商務省ハ豫算裁定ニ基キ各目ノ金額ヲ達スルモノトス
 - 第五條 收納取扱方ハ明治二十二年十一月大藏省訓令第六十六號諸收入收納取扱順序第三條以下ノ各條ニ據ル但毎月收入總報告書ハ其翌月十五日迄ニ農商務省ヘ送付スヘシ

第六條 過課納金ヲ發見シ其排戻シヲ要スルトキハ下及計算書ヲ作り之ヲ農商務省ヘ送付スヘシ

〔三十六〕森林收入取扱順序及森林經費取扱順序改定 明治二十三年三月三日 農商務省訓令第十一號 大林區署

森林收入取扱順序

- 第一條 森林收入豫算額ハ毎年度農商務大臣之ヲ台達スヘシ
- 第二條 大林區署長ハ豫算額ニ基キ收入ヲ測定シ各納人ニ對シ本訓令附屬書式ノ納入告知書ヲ發シテ現金ヲ金庫ニ納付セシムヘシ但左ノ場合ニ於テハ納入告知書ヲ發セス現金ヲ收入官吏ニ即納セシムルコトヲ得
 - 一 公賣券代價金ヲ徵收スルトキ
 - 二 公賣券代價ノ即納金ヲ徵收スルトキ
 - 三 義務者ノ身代限ニ係ル配分金ヲ徵收スルトキ
 - 四 前各項ノ外納入告知書ヲ發付シテ徵收スルノ猶豫ナキトキ
- 第三條 前條但書ノ場合ニ於テハ大林區署長ハ小林區署長若クハ大林區署長ニ於テ特ニ派出セシメタル官吏ニ委任シテ收入ヲ測定シ現金ヲ收入官吏ニ收入セシムルコトヲ得
- 第四條 前條ニ據リ委任ヲ受ケタル官吏收入ヲ測定シタルトキハ測定済報告書ヲ製シ翌日マテニ之ヲ大林區署長ニ送付スヘシ
- 第五條 大林區署長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ自身ニ測定シタルモノト同一ノ手續ヲナスヘシ
- 第六條 納入告知書ハ左ノ區分ニ依リ當該收入官吏ニ交付シ收入官吏ヲシテ納人ニ交付セシムヘシ
 - 一 小林區署管轄内ヨリ起ル收入ハ當該小林區署收入官吏ニ交付ス
 - 二 延納金賠償金ノ類ニシテ納入後物件ノ引渡ニ關係ナキモノ若クハ小林區署管轄外ヨリ起ル收入ハ徵收上便宜ノ地ニ在ル收入官吏ニ交付ス

省令第十一號
八第百三ノ二
十五項ニ掲ク

第七條 收入官吏ハ納入告知書ノ交付ヲ受ケタルトキハ明治二十二年八月大藏省令第十一號第十四號書式收入簿測定済

ノ欄ニ其金額ヲ登記シ納入告知書ハ直ニ納人ニ送付スヘシ但第二條但書ノ場合ニ於テハ其領收スヘキ金額ノ確定シタルトキ收入簿測定済ノ欄ニ其金額ヲ登記スヘシ

第八條 納入告知書ハ指定期限内ニ納人ヲシテ納金ト共ニ金庫ニ持參セシムヘシ金庫ハ之ニ對シ本訓令附屬書式ノ領收證ヲ發スルモノトス

第九條 會計規則第二十九條ニ據リ金庫ノ發シタル領收證ハ直ニ納人ヲシテ收入官吏ニ持參セシメ收入官吏ハ之ヲ檢シ明治二十二年八月大藏省令第十一號第十四號書式ノ收入簿ニ收入済ノ記入ヲトシ領收證ニ式ノ如ク檢印シ別符ヲ切離シ領收證ヲ納入ニ送付スヘシ

第十條 收入官吏現金ヲ領收シタルトキハ明治二十二年八月大藏省令第十一號第十四號書式ノ收入簿ニ收入済ノ記入ヲナシ同令第三號書式ノ現金排込書ヲ製シ現金ニ添ヘ明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第十五條若クハ第十六條ニ定メタル期限ニ之ヲ金庫ニ送付スヘシ

第十一條 收入官吏前條排込金ニ對シ金庫ヨリ領收證ヲ得タルトキハ翌日マテニ之ヲ大林區署長ニ送付スヘシ

第十二條 大林區署長ハ收入官吏ノ送付シタル金庫ノ領收證ヲ檢シ現金收入檢定簿ニ之ヲ登記シ領收證ニ式ノ如ク檢印シ別符ヲ切離シ領收證ハ收入官吏ニ送付スヘシ

第十三條 收入官吏ハ明治二十二年八月大藏省令第十一號第四號書式ノ毎月收入報告書ニ左ノ書類ヲ添ヘ翌月七日マテニ之ヲ大林區署長ニ送付スヘシ

- 一 收入金月計對照表(金庫ヨリ送付スルモノトス)
- 二 收入金細別表
- 三 未收入金細別表

第十四條 大林區署長ハ收入官吏ヨリ送付シタル收入報告書ヲ取纏メ明治二十二年八月大藏省令第十一號第五號書式ニ

第十一類 第一章 會計 出納

同上

同上

領 收 証 書

<p>第 [何] 號 [何] 年 度 [何郡何村] [何某納]</p> <p>[收入官吏官氏名] 扱 [農前務省主管]</p> <p>一金 [何程]</p> <p>但(收入ノ目的ヲ記入スルコト前案ニ同シ)</p> <p>右領收候也</p> <p>明治何年何月何日</p> <p>[何々] 金庫 印</p> <p style="text-align: center;">金庫 割印</p> <p style="text-align: center;">收入官 取印</p>	<p>第 [何] 號 [何] 年 度 [何郡何村] [何某納]</p> <p>[經常臨時] [何々] (款) [何々] (項) [何々] (目)</p> <p>[收入官吏官氏名] 扱 [農前務省主管]</p> <p>一金 [何程]</p> <p>明治何年何月何日何々何々金庫へ納入</p>
---	--

シヘス發持へ吏官入收ニ直上ノ込拂へ庫金ヲ金現ハ符切續接此(意注)

森林經費取扱順序

- 第一條 森林經費豫算定額ハ毎年度農前務大臣之ヲ令達スヘシ
- 第二條 大林區署長ハ前條豫算定額ニ基キ金庫豫算書ヲ調整シ令達ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ當省へ差出スヘシ
- 第三條 仕排豫算額ハ毎年度農前務大臣之ヲ令達スヘシ
- 第四條 大林區署長ハ左ノ場合ニ於テハ現金前渡ノ仕排命令ヲ發スルコトヲ得
 - 一 事業場經費
 - 二 (森林)調査上使用スル傭人料及測點標費(二十三年十月訓令第五十五號ヲ以テ)
- 第五條 前條現金前渡ノ仕排命令ハ事業ノ大小ヲ量リ三百圓以内ニ於テ之ヲ發スヘシ
- 第六條 前條ニ據リ現金前渡ノ支排命令ヲ發シタル後更ニ同一ノ主任官吏ニ現金前渡ヲ爲スタメ仕排命令ヲ發セントスルトキハ會計規則第四十條第二項第二ノ方法ニ據リ計算シ前後ノ金額ヲ合シテ三百圓ヲ過ルコトヲ得ス
- 第七條 大林區署長ハ公務旅行ノ命ヲ受ケタル官吏ヨリ旅費概算額ヲ請求アルトキハ左ノ制限ニ從ヒ概算渡ノ仕排命令ヲ發スルコトヲ得
 - 一 管内外旅行ハ其旅行順路及旅行日數ニ該當スル費額
 - 二 赴任旅行ハ目的地迄ニ該當スル費額
- 第八條 大林區署長ハ會計法第二十三條但書ノ場合ニ於ケル返納金アルトキハ明治二十二年十月十二日大藏省令第十六號第一條ニ據リ返納告知書ヲ發シテ返納セシムヘシ但シ翌年度五月三十一日迄ニ返納セサルモノアルトキハ該返納金ハ明治二十二年十月十二日大藏省令第十六號第四條ノ手續ニ據リ現年度ノ歳入ニ繰入ルヘシ
- 第九條 大林區署長ハ明治二十二年十月十二日大藏省令第十六號第二條ニ據リ領收證ノ檢印別符ノ切離ヲ爲シタルトキハ毎半月分取纏メ其月十六日翌月一日ニ定額戻入要求書ヲ製シ當省へ差出スヘシ
- 第十條 大林區署長ハ過年度ニ屬スル經費ヲ支出セントスルトキ其時々過年度經費支出計算書ヲ製シ當省へ差出シ其承

省令第十六號
ハ第百三ノ二
十四項ニ掲ク

第十一類 第一章 會計 出納

認ヲ受クヘシ

第十一條 大林區署長ハ會計法第二十一條及第二十二條ニ據リ定額ヲ翌年度ニ繰越サントスルトキハ年度經過後十日以内ニ繰越計算書ヲ製シ當省ヘ差出シ其承認ヲ受クヘシ

第十二條 會計主務官ハ會計規則第四十九條ニ據リ調製スル所ノ毎月支出報告書ニ提出金月計對照表ヲ添ヘ翌月十日迄ニ當省中央會計主務官ニ送付スヘシ

第十三條 大林區署長ハ定額經費ノ決算報告書ヲ製シ翌年度八月三十一日迄ニ當省ヘ差出スヘシ

第十四條 大林區署長ハ左ノ帳簿ヲ設クヘシ
一 森林經費豫算簿
二 森林經費區別簿

第十五條 大林區署長ハ前條ノ外必要アルトキハ適宜補助簿ヲ設クヘシ

第十六條 大林區署長ハ毎月曜日ニ森林經費豫算簿計算表ヲ調製スヘシ

第十七條 金庫豫算書定額戻入要求書過年度經費支出計算書經費繰越計算書決算報告書森林經費豫算簿計算表様式及森林經費豫算簿森林經費區別簿ノ様式及記入ノ方法ハ山林局長之ヲ定ムヘシ

〔三十七〕森林收入納入告知書記職方 明治二十三年五月三十一日
農務省訓令第二十七號大林區署

本年三月農務省訓令第十一號ニ據リ發付スル森林收入納入告知書ニハ收入官吏名及ノ欄内右傍ヘ該收入官吏ノ在勤職名ヲ記入スヘシ

〔三十八〕森林收入取扱順序ニ依リ納入告知書ヲ發スルトキ取扱方 明治二十三年八月五日
農務省訓令第四十一號大林區署

別符

二十三年三月當省訓令第十一號森林收入取扱順序第二條ニ據リ納入告知書ヲ發スルトキハ該告知書ニ接續セル領收證ノ別符裏面ニ收入目的物件ノ種類數量段別ノ坪數地名事由等收入官吏ノ證明上必要ナル事項ヲ漏ナク記載シ現金ヲ即納セ

シムルトキハ其際同上ノ事項ヲ收入官吏ニ通知スヘシ

但既ニ告知書ヲ發付シ若クハ現金ヲ即納セシメタルモノハ此際本文ノ事項ヲ當該收入官吏ヘ通知スヘシ

〔三十九〕森林收入及森林經費取扱順序ニ據リ發スル納入告知書 明治二十三年三月十五日
農務省訓令第四十四號北海道廳

縣府

明治二十三年二月當省訓令第六號第五條ニ據リ發スル納入告知書ニハ所管廳ト其取扱應トヲ記入スヘシ

〔四十〕森林事業及森林收入同經費豫算調製順序改正 明治二十三年十一月十三日
農務省訓令第六十三號大林區署

本年二月丙林第四十四號森林事業及森林收入同經費豫算調製順序左ノ通改正ス

森林事業及森林收入同經費豫算調製順序

第一條 大林區署長ハ毎年度森林事業ヲ調製シ前々年度十二月二十八日迄ニ當省ヘ差出スヘシ

第二條 大林區署長ハ毎年度森林收入同經費豫算調製シ明治二十三年一月農務省訓令第一號書式ノ金庫區分表ヲ添ヘ前々年度十二月二十八日迄ニ當省ヘ差出スヘシ

第三條 大林區署長ハ毎年度森林經費概算書ヲ調製シ前々年度十二月二十八日迄ニ當省ヘ差出スヘシ

第四條 森林事業及森林收入同經費豫算調製手續及其様式ハ山林局長之ヲ定ム

〔四十一〕森林收入取扱方 明治二十三年三月十五日
農務省訓令第十五號府縣(沖繩ノ五縣ヲ除ク)

當省所管森林收入 林相ヲナシタル山ハ明治二十三年二月農務省訓令第六號農務省所管免許料手数料鑛山借區稅徵收順序ニ準據取扱フヘシ

〔四十二〕森林收入ニ屬スル辦償金訴訟入費償却金違約金盜難品賠償金返納及懲罰金ノ訓

令中刪除 明治二十三年四月十二日
農務省訓令第二十二號府縣(沖繩縣ヲ除ク)大林區署

二十一年四月當省訓令第十三號 大林區署ハ當省 中及懲罰金ノ四字ヲ削除ス

第十一類 第一章 會計 出納

訓令第六號ハ
三十五項ニ掲
ク

訓令第六號ハ
初編第百三十
二ノ三十八項
ニ掲ク

訓令第十三號
ハ初編第百三
十二ノ四十項
ニ掲ク

〔四十三〕農商務省所管免許料鐵山借區稅及森林收入會計檢査ノ事項取扱方

明治二十三年六月七日

農商務省訓令第二十
九號北海道廳府廳

當省所管免許料手收料鐵山借區稅及森林收入(林相ヲナシタル山)ニ關シ會計規則ニ據リ檢査スヘキ事項ハ北海道廳長官府廳知事之ヲ取扱フ可シ島廳アル所ハ島司ニ委任スルコトヲ得

〔四十四〕教科用圖書檢定手收料學校教員學力試驗手收料及同免許狀授與手收料收納ノ事務ヲ委任シ收入總報告書差出

明治二十三年二月十九日
文部省訓令第三號北海道廳府廳
當省主管教科用圖書檢定手收料學校教員學力試驗手收料及同免許狀授與手收料收納ノ事務ヲ委任候條二十二年十一月十一日省訓令第六十六號ニ據リ取扱收入總報告書ハ當省ヘ差出スヘシ

但二十三年四月一日ヨリ施行ス

〔四十五〕欠

〔四十六〕欠

〔四十七〕歲出豫算概定順序

明治二十二年四月十一日
內務省訓令第十七號警視廳府廳集治區區假留監

歳出豫算概定順序左ノ通相定ム

第一條 警視廳廳府廳知事集治區區假留監ハ毎年度歳出概算書ヲ調製シ前々年度二月二十八日限リ其廳ヲ發シ當省ヘ進達スヘシ(二十四年二月訓令第一號ヲ以テ(警視廳廳)ノ上(鐵道廳長官)ノ五字(府廳知事)ノ上(北海道廳長官)ノ六字ヲ挿入ス)

第二條 歳出概算書ハ各廳ノ經費ヲ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之レヲ款項ニ區分シ前年度ノ豫算ニ比シ増減ノ理由ヲ説明スヘシ

第三條 當省於テハ各廳ノ歳出概算決定額ヲ前年度五月七日迄ニ進達スヘシ

第四條 警視廳廳府廳知事集治區區假留監ハ當省於テ決定シタル各廳ノ經費毎項ノ概算額以內ニ於テ節約ヲ旨トシ毎年度ノ豫定經費要求書ヲ調製シ前年度五月三十一日限リ其廳ヲ發シ當省ヘ進達スヘシ(同上)

第五條 歳出概算書ハ別冊ノ様式ニ據リ調製スヘシ

但別冊ハ別ニ頒附ス又豫定經費要求書ノ様式ハ追テ進達スヘシ

第六條 明治二十三年度豫算ニ限リ第三條ノ期限ヲ六月七日第四條ノ期限ヲ六月三十日迄延期ス

〔四十八〕歳出豫算概定順序中豫定經費要求書ノ様式

明治二十二年六月一日
內務省訓令第二十三號警視廳府廳集治區區假留監
本年當省訓令第十七號歳出豫算概定順序中豫定經費要求書ノ様式左ノ通り相定ム

明治何年何月

明治何年度內務省所管

豫定經費要求書

(用紙ハ美濃十三行野紙ヲ用ユヘシ)

長官何某

何廳明治何年度豫定經費要求書説明

內務省所管本年度經費ニ關スル重要ノ事件ヲ摘記スル左ノ如シ

經常歳出ニ關スル部

- 一 明治何年何月勅令何號ヲ以テ何々ノ改訂等アリ何圓ノ減少ヲ見ルニ至レリ
- 一 明治何年何月何省令何號ニ依リ何々ノ事業ヲ何々サレタルヲ以テ何圓ヲ減スルニ至レリ

第十一類 第一章 會計 出納

一何々ニ依リ何々アルヲ以テ何々ノ費用ニ於テ頗ル節減ヲ加フルコトヲ得テ何々ノ減少ヲ來ス見込ナリ
 一明治何年月第何號勅令(又ハ何省令)ヲ以テ何々ノ事務ヲ屬セラレ何々ノ増加ヲ要ス
 一何々ノ事務何々ニ依リ増員ヲ要スルニ依リ何々ノ増加ヲ要スルニ至レリ
 臨時支出ニ關スル部
 一何々ノ事ハ目下緊急ノ業務令ニシテ此事ヲ舉行セサレハ他日云々ノ害アリ依テ何々ノ事ニ着手セントス之レカ爲メ要スル所ノ總費額ハ概計何々ニシテ本年度ニ於テ要スル費額ハ何々トス
 一何々ノ事ハ何々スルノ見込ナリ依テ何々ニ何々ヲ要スルノ豫算ナリ
 一何々ハ前年度ニ於テ至ク結了セシヲ以テ本年度ハ其費用ヲ要セス
 款項ノ説明

本年年度豫算高	ノ以テ
前年度豫算高	ノ以テ
ニ比較スレハ	ノ以テ
ヲ減少ス之レ	ノ以テ
第一項 俸給及諸給ニ於テ何々ニヨリ	ノ以テ
ヲ増加シ	ノ以テ
第二項 履費ニ於テ何々又ハ何々ノ爲メ	ノ以テ

經常第二部支出ノ部
 第何款何々

ヲ増加シ合計	ノ以テ
ヲ増加スト雖トモ	ノ以テ
第三項 旅費ニ於テ何々ノ爲メ	ノ以テ
ヲ減少シ	ノ以テ
第四項 何々ニ於テ何々ニ依リ	ノ以テ
ヲ減少シ合計	ノ以テ
ヲ減少セシニ由ル	ノ以テ
第何款 何々	ノ以テ
以下前例ニ依リ	ノ以テ
臨時支出ノ部	ノ以テ
第何款 何々	ノ以テ
以下前例ニ依リ	ノ以テ
内務省所管	ノ以テ
經常第二部支出	ノ以テ
科 目	ノ以テ
何年度要求額	ノ以テ
何年度許可額	ノ以テ
比較ノ差増減△	ノ以テ
備 考	ノ以テ
(△印ハ朱書)	ノ以テ

第一節 何々		何等何人何等何人何等何人明治十九年四月勅令第三十六號判任官々等俸給令第五條參看
第二節 何々		便宜ノ體裁ヲ以テ算出ノ方法基礎ヲ明示スヘシ以下皆同シ
第二目 何々	第一節 何々	
	第二項 以下皆一項ノ例ニ據ル	

閣令第十九號
八十九項ニ掲

〔四十九〕豫定經費算出方心得 明治二十二年六月十一日
 豫定經費算出方ノ儀者本年六月閣令第十九號算出概則ノ通心得ヘシ
 〔五十〕大藏省所管經費諸拂戻及缺損補填金科目 明治二十二年四月四日
 大藏省訓令第二十二號廳府縣
 當省所管經費諸拂戻及缺損補填金科目ハ二十二年以降左ノ通リ心得ヘシ

款	項	目	節
諸拂戻及缺損補填金	諸拂戻金	租稅過誤納下戻	内國稅

租稅拂戻	關稅
酒類稅	
醬油稅	
烟草稅	
輸出稅	
輸入稅	
諸收入過誤納下戻	
缺損補填金	缺損補填金

〔五十一〕大藏省所管經費ノ仕拂内譯書發送方 明治二十三年五月十日
 大藏省訓令第七十七號本省造幣局印刷局稅關府縣會計主
 官務
 會計主務官ヨリ會計検査院ヘ送付スヘキ大藏省所管經費ノ仕拂内譯書ハ翌月十五日マテニ當省會計監督員ヘ發送スヘシ
 〔五十二〕歳出支辨ニ屬スル工事物品購買ニ關スル諸契約締結方 明治二十三年三月二十日
 大藏省訓令第四十一號造幣局各稅
 關北海道
 廳府縣
 當省所管歳出支辨ニ屬スル工事又ハ物品購買ニ關スル諸契約ハ仕拂豫算ヲ以テ仕拂命令ヲ委任シタル金額内ニ係ルモノ

第十一類 第一章 會計 出納

ハ其被任者ニ於テ契約締結スルコトヲ得

〔五十二〕歳出繰越ニ關スル件取扱方 明治二十三年三月十八日 農商務省訓令第十八號 大林區署
今般法律第十一號ヲ以テ明治二十二年會計特別整理ノ件公布相成候ニ付テハ繰出繰越ニ關スル件取扱方左ノ通心得ヘ

但繰越計算書ハ本年四月十日迄ニ當省ヘ差出スヘシ

一 法律第十一號第五條ニ定メラレタル各位主毎ニ金額ノ區分等ヲ示スハ計算書ノ事由欄内ニ於テスル儀ニ有之但シ其口
數多ナル場合ニ於テハ計算書ニハ單ニ項全體ニ關スル事由ヲ示シ金額ノ區分等ハ之ヲ別冊ニ記載スルモ妨ケナシ
一 二十二年度ヨリ繰越スヘキ經費ハ二十三年度豫算ヲ以テ定メラレタル臨時繰出ノ後ニ繰越ノ部ヲ設ケ二十二年度同様
ノ科目ヲ設置シ整理スヘシ

〔五十四〕二十二年度以降大藏省所管内國稅徵收費仕拂豫算整理方 明治二十三年三月十一日
大藏省訓令第三十一號 府縣

明治二十三年度以降大藏省所管内國稅徵收費ノ仕拂豫算ヲ達シタルトキハ左ノ各項ニヨリ仕拂豫算ノ整理ヲナスヘシ
一 仕拂命令官ハ左ノ第一號書式ニ據リ仕拂命令清額報告書ヲ毎年度ニ同ニ區分調製シ四月ヨリ九月マテノ分ハ其年十月
七日以内十月ヨリ三月マテノ分ハ翌年四月七日以内ニ大藏省ヘ送付スヘシ但年度後ノ仕拂命令清額ハ完了後日數七日
以内ニ報告スヘシ

一 仕拂命令官ハ左ノ第二號書式ノ概算支出金整理簿ヲ備エ概算渡ニ係ル仕拂命令額ノ精算額返納額ヲ登記スヘシ
一 仕拂命令官ハ直稅署直稅分署間稅分署所要ノ費額ヲ區分シ適宜ノ帳簿ヲ備エ各其費途ヲ詳記スヘシ 二十四年三
十號ヲ以
テ改正ス

一 仕拂命令官ハ別紙第三號書式ニヨリ年度經過後五箇月以内ニ每會計年度ニ屬スル仕拂豫算額仕拂命令清額及ヒ前
項ノ區分ニ依リ所要費額ヲ詳記シタル報告書ヲ調製シ大藏省ヘ送付スヘシ 同上
一 臨時繰出ニ係ル仕拂豫算ヲ達シタルトキハ前各項ニ準據シ款別ニ整理スヘシ

二十四年四月
訓令第三十二
號ヲ以テ第二
項ヲ改正ス

一 第三號書式ハ主稅局ヨリ之ヲ送付ス (書式略ス)

〔五十五〕廿三年大藏省訓令第三十一號第二號書式備考第一項ヲ刪除シ第二項以下冒頭ニ

記載セル順號ハ順次之ヲ繰上ク 明治二十三年三月十九日
大藏省訓令第三十九號 府縣

本年大藏省訓令第三十一號第二號書式備考第一項ヲ刪除シ第二項以下冒頭ニ記載セル順號ハ順次之ヲ繰上ク

〔五十六〕大藏省所管國稅ニ關スル鑑札用品出納順序 明治二十三年五月十七日
大藏省訓令第八十五號 北海道廳府縣主稅局

大藏省所管國稅ニ關スル鑑札用品出納順序左ノ通相定メ本年六月一日ヨリ施行ス

但從前ノ訓令又ハ指令中此順序ニ抵觸スルモノハ同日ヨリ廢止ス

鑑札用品出納規程

第一條 鑑札用品ハ消耗品ノ一部トシ各地方長官ノ分任代理官ノ命令ニ由リ本廳區ヲシテ之ヲ出納セシムヘシ
第二條 鑑札用品ハ毎年三月及ヒ九月兩度ニ豫算ヲ以テ各地方稅部出張所長又ハ島司郡長ヨリ地方長官ノ分任代理官
ニ請求スヘシ但臨時必アル場合ニ於テハ隨時之ヲ請求スヘシ

第三條 前條鑑札用品ノ配付ハ鑑札下付主任官吏之ヲ收受シ其種類員數ヲ記載セル領收證書ヲ製シ各計官吏ニ差出スヘシ
第四條 各稅部出張所又ハ島廳郡役所ニ於テ直チニ製造シ又ハ買入ル、所ノ鑑札用品ト雖トモ其出納上ニ於テハ第二
條第三條ノ式ヲ追フヘシ

第五條 鑑札用品ノ支出ハ其請求書ニ命令官認印ヲ捺捺スルヲ以テ命令ト做ス
第六條 鑑札用品ハ會計官吏ノ保管ヲ離ル、ヲ以テ出トシ鑑札下付主任官ノ領收證書ヲ以テ其支出ヲ完結スルモノトス

第七條 會計官吏及ヒ鑑札下付主任官吏ハ消耗品出納簿ヲ調製シ用品出納ノ事項ヲ記載スヘシ
第八條 物品會計規則第十七條ノ計算書下檢査ハ地方長官取廻メ之ヲ執行シ直チニ檢査院ニ送付スヘシ

第九條 鑑札用品ノ大藏省製造ニ係ルモノ受拂報告書ハ適宜之ヲ取調ヘ差出スヘシ

第十一類 第一章 會計 出納

〔五十七〕 收入官吏收入簿會計主務官支出簿月計追次締高記載方

明治二十二年大藏省令第十一號舊式第十四號收入官吏收入簿第十六號會計主務官支出簿月計及追次締高記載方ハ左ノ
様式ニ準スヘシ其第十七號中央會計主務官放出簿中合計アルハ最終ノ合計ニシテ毎月合計ヲ要セサル儀ト心得ヘ
シ

〔五十八〕 内務省所管物品出納規程

明治二十二年九月七日
内務省訓令第三十六號警視廳府縣集治監假留監
當省所管物品出納規程別冊ノ通之ヲ定ム
右訓令ス

但別冊ハ別ニ之ヲ頒ツ (別冊略ス)

〔五十九〕 物品出納規程第二十五條ノ計算書程式調製

明治二十二年十月五日
内務省訓令第三十九號警視廳府縣集治監假留監
本年當省訓令第三十六號物品出納規程第二十五條ノ計算書ハ別冊程式ニ由リ調製スヘシ
但別冊ハ別ニ頒付ス (別冊略ス)

〔六十〕 内務省訓令物品出納規程第四條中改正

明治二十三年十月十四日
内務省訓令第三十五號警視廳府縣集治監假留監
明治二十二年九月當省訓令第三十六號物品出納規程第四條中第二部長ヲ第四課長ト改メ府縣ハ會計課長ヲ府縣ハ第四課
長ノ次席者ト改正ス

〔六十一〕 内務省訓令物品出納規程第二條第四條中加除

明治二十四年三月二十四日
内務省訓令第四號警視廳府縣集治監假留監大
坂權濟衛
生試驗所
明治二十二年九月當省訓令第三十六號物品出納規程第二條中土木局長ノ下ヘ圖書局長第四條中土木計算課長ノ下ヘ圖書
課長ノ各四字ヲ挿入シ用度課長ノ下ノ部課ハ共ノ四字ヲ削リ圖書局長ハ圖書課長ノノ九字ヲ挿入ス

〔六十二〕 金庫へ送付スル案内仕拂命令請求書支出報告書記入登記方

明治二十三年五月九日
大藏省訓令第七十五號
會計

會計主務官ヨリ提出スル支出報告書ノ金額ト金庫出納役ヨリ差出スヘキ放出金月計對照表ノ金額トヲ毎月末ニ符合セシ
ムル爲メ會計主務官ヨリ金庫へ送付スル案内仕拂命令案内仕拂請求書へ仕拂命令仕拂請求書ヲ受取人若シクハ金庫へ交
付セシ年月日記入方支出報告書へ調定額附登記方及毎月末仕拂命令交付方共左ノ通相定候條此旨心得ヘシ
一 毎月ノ計算整理ノ爲メ仕拂命令及仕拂請求書ヲ受取人へ交付シ又ハ金庫へ送付スルハ其月二十八日 二月十二月ハ限リ
トス

但規則上仕拂日限ノ定リシモノ及急務ヲ要スル仕拂ハ此限ニアラス

一 會計規則第三十八條ニ據リ會計主務官ヨリ仕拂命令仕拂請求書ヲ受取人へ交付シ又ハ金庫へ送付スルトキハ金庫へ送
付スヘキ案内仕拂命令案内仕拂請求書ノ欄外下段ニ何年何月何日交付済ト記入スヘシ
但何年何月何日交付済ノ印ヲ押捺スルモ妨ナシ

一 會計主務官ノ仕拂命令仕拂請求書ニ調定額ヲ記入スルハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ヲ受取人へ交付シ又ハ金庫へ送付ス
ルトキニ之ヲ行フヘキ管ニ付支田簿中仕拂命令調定額ノ欄内ニハ仕拂命令仕拂請求書ヲ受取人へ交付シ又ハ金庫へ
送付スルトキニ於テ之レカ記入ヲナスヘシ

一 會計主務官ヨリ毎月提出スル支出報告書中仕拂命令調定額ノ本月分欄内ニハ實際其月中ニ受取人へ交付シ又ハ金庫
へ送付セシ仕拂命令仕拂請求書ノ金額ヲ記入スヘシ

〔六十三〕 收入官吏交替ノトキ金庫へ通知方及金庫計算方取扱手續

明治二十三年五月二十七日
大藏省訓令第九十二號北海道

收入官吏交替等ニ依リ交替シタルトキ金庫へ通知方及金庫計算方取扱手續左ノ通リ心得ヘシ
一 各廳ニ於テ收入官吏交替ノトキハ前任及後任收入官吏ノ官氏名及何日分迄ハ前任收入官吏ノ取扱何日分ヨリ以降ハ後
任收入官吏ノ取扱トス

任收入官吏ノ取扱ナルコトヲ交替ノ際關係アル金庫へ通知スヘシ
一金庫ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其日限ヲ以テ帳簿上前任收入官吏ノ口坐ヲ締切リ更ニ後任收入官吏ノ口坐ヲ設クヘシ

一金庫ニ於テ前項ニヨリ前任收入官吏ノ口坐ヲ締切リタルトキハ直ニ其分ニ對シ月計對照表ヲ作り該收入官吏ノ證明ヲ受クヘシ但前任收入官吏死亡ノ場合ハ月計對照表ヲ前任收入官吏其取扱ノ分トシテ(後任收入官吏取扱ノ)之ヲ後任收入官吏へ提出シ證明ヲ受クヘシ

一金庫ニ於テ第二項ニ依リ後任收入官吏ノ口坐ヲ設ケタル以降ハ前任收入官吏官民名ヲ記載シタル徵稅令書納入告知書等ヲ以テ現金ヲ納付スルモノアルトキハ總テ之ヲ後任收入官吏ノ口坐へ記入シ該後任收入官吏ノ計算ニ組入レ月計對照表ヲ提出スヘシ

〔六十四〕大藏省管理ニ屬スル歳入收入官交替ノトキヤ證明書式

明治二十三年六月十四日
大藏省訓令第三百二號造幣局印刷局稅

關北海
關府廳

明治二十三年度以降常省管理ニ屬スル歳入ノ收入官吏交替ノ節ハ會計規則第九十九條ニ據リ左ノ書式ヲ以テ證明スル儀ト心得ヘシ

(書式要ス)

〔六十五〕金庫局及國庫金出納所へ雜部預ケ入金整理順序

明治二十三年三月七日
大藏省訓令第三百二十六號北海道廳府廳

從來各廳官吏ニ於テ取扱ノ現金ヲ金庫局(金庫局大阪出張)國庫金出納所(國庫金出納支所)へ雜部金トシテ預ケ入金庫局及國庫金出納所ニ於テハ該官吏ノ任排切符ヲ以テ之ヲ仕排ヒ又ハ各廳へノ納金ヲ納入ヨリ直ニ金庫局及國庫金出納所へ雜部トシテ納付シタルモノ有之候處本年四月一日以降會計法施行ニ付出納官吏ノ資格アルモノニアラサレハ雜部金ノ保管預ケヲナシ又ハ現金ノ出納ヲ難取扱儀ニ付本年三月三十一日迄ニ金庫局及國庫金出納所へ雜部預ケ入レニナセシ金預ハ左ノ順序ニ據リ整理スヘシ

二十三年訓令
第三百二十四
號(百八)ノ二
十一項ヲ以
テ租稅證明規
程ヲ定ム

二十二年省令
第十三號八第
百六ノ四項ニ
掲ク

第一條 各廳官吏ニ於テ取扱フ現金ニシテ本年三月三十一日迄ニ金庫局及國庫金出納所へ雜部預ニセシ金額ノ内同日迄

ニ仕排切符ヲ發行シ其案内書ヲ金庫局及國庫金出納所へ送致シ其分ニ係ル金額ヲ扣除シ其殘額ハ雜部金引續證書ヲ製シ(本文引續證書ハ國庫金出納所事務順序第五十九條ノ雜部金仕排切符ヲ用ヒ其書式文中「何之誰渡」日附後九十日限リ此切符持参人へ現金相渡ス可シ)トアルヲ朱線ヲ以テ抹殺シ更ニ「本行ノ金額ハ今般出納官吏何廳何官氏名へ此證書ヲ以テ引續候ニ付抽者預ケ金ハ決算有之候處也」ト記載シ大藏省(會計法規ニ據リ定ムル所)出納官吏へ引續クヘシ

前項ノ引續證書ヲ發シタルト同時ニ案内書ヲ製シ(本文案内書ハ國庫金出納所事務順序第五十九條雜部金仕排切符ニス)トアルヲ朱線ヲ以テ抹殺シ更ニ「本行ノ金額出納官吏何廳何官氏名へ引續キ即チ本日引續」此仕排切符本日振出證書相發ス」ト記載シ(金庫局長)(現金支拂所)トアルハ(中央金庫)(何地本支金庫)トスヘシ(中央金庫若クハ各地本支金庫へ報告スヘシ)

第二條 第一條ノ引續ヲ受ケタル出納官吏ハ引續證書ヲ以テ明治二十二年十月大藏省令第十三號ノ順序ニ據リ中央金庫若クハ各地本支金庫へ保管預ケノ順序ヲナスヘシ

第三條 各廳へノ納金ニシテ納入ヨリ直ニ金庫局及國庫金出納所へ納入セシ分ノ本年四月一日へ越未決算ノ金額ハ其關係ノ各廳官吏ニ於テ國庫金出納所事務順序第五十六條第六號書式金庫領收證書(甲)ニ明細書ヲ添ヘ會計法規ニ據リ定ムル所ノ收入官吏へ引續クヘシ(本年三月三十一日迄ノ金庫領收證書ニシテ四月一日以降各廳へ)前項ノ引續ヲナシタル各廳官吏ハ引續明細書ヲ寫シテ製シ之レヲ案内トシテ中央金庫若クハ各地本支金庫へ送付スヘシ

第四條 本年三月三十一日以前ニ各廳官吏ニ於テ金庫局及國庫金出納所へ預ケ入レタル雜部金ニ對シ第一條ノ引續證書ヲ發シタルモノ、外本年四月一日以降現金引切符ヲ發シ又ハ現金ノ排戻シヲ請求スルヲ得ス

〔六十六〕招魂社並墳墓共修繕等處分

明治二十三年八月二十二日
內務省訓令第二十九號北海道廳府廳(奈良靜岡山梨島根和歌山德島香

川愛媛沖繩)
九縣ヲ除ク)
招魂社並墳墓共修繕等ノ儀ハ該受持神官監守者ヨリ其廳へ爲申立適宜處分スヘシ

但改造及有形變更ハ當省(伺出ツヘ)

〔六十七〕在府縣獄囚徒費神社費補助費ハ仕拂内譯證明ヲ要セス 明治二十三年六月三日 内務省訓令第二十一號廳府縣
明治二十三年度已降集治監ノ内在府縣獄囚徒費神社費補助費ノ儀ハ毎月仕拂内譯ノ證明ヲ要セス

〔六十八〕控訴院各裁判所ヨリ寄託豫納金假納金拂戻方 明治二十三年五月二十九日 大藏省訓令第九十五號金庫出納役
各控訴院各裁判所ヨリ寄託可相成豫納金及ヒ假納金ノ儀ハ本年省令第八號保管金取扱規程第五條第六條ニ據リ可取扱部
分ニ有之候處右ニテハ拂戻ノ際第十四條ニ據リ分割ヲ要シ取扱上懸雜ニ堪ヘサル儀ニ付右豫納金及ヒ假納金ニ限リ同規
程第七條第八條ヲ適用シ取扱官廳ニ於テハ保管金送付書ヲ納入ヘ交付スヘキニ付右ニ對シ各金庫ニ於テハ該取扱官廳宛
ノ保管金領收證書ヲ納入ヘ交付スヘシ

省令第八號ハ
第百七ノ二項
ニ掲ク

● 伺指令

● 收入官吏交替ノ節計算書ニ付照會回答 明治二十三年六月十九日 神奈川縣收稅長照會

本月十四日御省訓令第百二號ヲ以テ收入官吏交替ノ節證明方被定候處右收入計算書式凡例第二項ニ從前ノ仕譯書ヲ
添付スヘシト有之候仕譯書トハ十九年五月送第三三五號ヲ以テ會計檢査院長ヨリ逆送相成候内譯證明書ノ儀ニ可有
之ヤ

追テ收入計算書ニハ別ニ證據書類添付ニ及ハサル儀トハ存候得共爲念添テ及御照會候也
(大藏省主稅局)回答 明治二十三年六月二十一日

收入官吏交替ノ節會計檢査院(可差出計算書書式凡例第二項仕譯書ハ租稅外諸收入ニ添付相成候儀ニテ國稅ノ計
算書ニハ添付不及候

● 概算渡經費定額戻入方ノ件ニ付照會回答 明治二十三年十一月二十六日 陸軍會計局照會

仕拂命令ニ對スル受取人受領スヘキ事故止ミタル節取扱方過ル十八日會一發一二九號照會ニ對シ坤第一〇三八二

號御回答ノ趣丁本然ルニ旅費ノ如キ概算渡ニシテ追テ定額ニ戻入ヲ要スヘキモノモ御省省令第二十七號ニ準シ雜部
ニ編入ノ儀仕拂命令官ヨリ御省大臣ニ請求シ可然哉
(大藏省會計局)回答 明治二十三年十二月十二日
右ハ差支無之候ニ付左ノ手續ニ依リ御整理可有之

- 一 仕拂命令官ハ二十三年大藏省令第二十七號第一條ニ準シ雜部ニ編入ノ儀金庫(令達方大藏大臣)ニ請求ス
- 一 仕拂命令官ノ請求ニ依リ大藏大臣ヨリ金庫ニ令送シタルトキハ金庫ハ同省令第四條ニ準シ戻入ヲ要スル金庫ヲ
撤出ノ手續ヲ以テ拂出シ直チニ雜部ヘ受入レ同時ニ其趣ヲ仕拂命令官及會計主務官ニ通知ス
- 一 仕拂命令官ハ前條ノ通知ニ依リ二十二年大藏省令第十六號第三條ノ手續ヲナス

● 稅外諸收入收納事務取扱ノ件ニ付伺指令 明治二十三年十二月十六日 大阪府同

稅外諸收入收納事務取扱方ノ儀ハ地方官官制第二十五條ニ直稅ノ賦課租稅ノ徵收云々トアルニヨリ稅外諸
收入ノ内直稅間稅兩者ニ係ル分ハ直稅分署長ニ委任居候處今般法律第八十六號間稅國稅犯則者處分法及御省令第
三十一號間稅國稅犯則者處分法施行細則制定相成候其處分法第十八條ニ間稅官吏トハ間稅國稅ノ檢査若クハ徵收ニ
從事スル官吏ヲ謂フトアリ亦々施行細則第十六條ニ處分法第十一條ノ罰金其他ノ收入金ハ會計法規ノ定ムル所ニ依
リ之ヲ處理スヘシトアリ同第十九條ニ處分法第十一條ノ通告ヲ爲スニ當リ其納付スヘキ金額物件ヲ犯則者所在地ノ
管轄間稅分署ニ納付スヘキ旨ヲ通告スヘシトアリテ納人ヨリ間稅分署長ニ納付スヘキ順序ニ在之然ルニ間稅分署
長ヨリ現金ヲ金庫ヘ拂込テ手續無之ニ付同分署長ヨリ直稅分署收入官吏(現金及證據書類ヲ引續該官吏ヨリ金庫ヘ
拂込テ順序ニ爲取扱直稅收入官吏)引續送テ現金保管ハ間稅分署長ノ責任ト相心得可然哉又ハ直稅間稅兩分署長
ヘ委任シ而シテ間稅分署(モ更ニ收入官吏ヲ置キ該官吏ヨリ現金拂込テ順序ヲ爲スヘキモノナル哉果シテ然ラハ其
金庫ヘ拂込テ順序ハ如何相心得可然哉
一 客月二十八日第四七四一號ヲ以テ間稅國稅犯則者處分法ニ據リ收入科目御達相成候處主管廳ハ大阪府主管トシテ

整理可然哉

(大藏省)指令 明治二十四年一月六日

第二項 直税分署收入官吏ヲシテ間稅分署業務ノ心得ヲ以テ取扱ハシムヘシ

第二項 伺ノ通

●作業益金納入取扱方ノ件ニ付照會回答 明治二十四年一月二十三日

鐵道廳照會

客年七月十日付第百二十五八七號御通達ニ作業廳ニ於テ國庫(益金)ノ納付スヘキモノアルトキハ其主管廳ヨリ七號ノ納入告知書ヲ得テ該廳ノ收入官吏ニ仕排請求書ヲ交付云々又同月二十一日第百二十九號御通達ニ作業廳ニ於テ益金ヲ國庫ニ納付スル爲メ歳入過剩金ノ支出ヲ爲シタルトキハ其作業所ノ歳出科目ノ末項ニ何々作業益金ノ科目ヲ設ケ云々ト有之右歳入過剩金トハ受排勘定ニ於テ得ル所ノ益金額ノ儀ニ可右之哉就テハ右納入取扱ハ左ノ如ク可相成哉

一 作業歳入ハ仕排豫算額ニ超過スルト否トニ拘ハラズ總テ仕排元受ニ編入シ置クヘキ事

歳出科目ノ末項ニ設クヘキ何々作業益金ナル科目ハ項目タルヘキ事

一 益金納付ノ爲メ歳スル仕排請求書ノ科目ハ(款)作業費(項)何々作業益金ト記載スヘキ事

一 右作業益金ナル科目ニ對スル豫算ハ別ニ豫定ノ額ナシ隨テ委任サレタル仕排豫算無之其仕排豫算ナキ科目ニ對シテハ仕排請求書ヲ發シ及之ヲ調定スルヲ得サルモノニ候得共右益金ニ限リ特ニ豫算ノ有無ニ拘ハラズ受排勘定ニ於テ査定シタル金額ニ據リ仕排請求書ヲ發シ會計主務官ハ之ヲ調定スヘキ事

一 作業歳出ノ仕排請求書ヲ歳スルハ毎年度三月三十一日限リナレトモ作業益金ハ毎年度三月三十一日ヲ經過シ受排勘定ヲ整理セサレハ確定セサルモノニ付益金納付ノ爲メニ歳スル仕排請求書ニ限リ年度經過後ニ履行スルヲ得ル事

(大藏省)回答 明治二十四年二月三日

第二第三(款)科目ハ原簿損益ノ科目ヲ適用候儀ト御承知相成度其他ハ總テ御意見ノ通りニ候

●税外諸收入證明規程中調定額明細書ノ件問合回答 明治二十四年一月十五日(電報)

税外諸收入證明規程五條調定額明細書ハ收入官吏交替ノ時々打切調製提出スルモノカ直ク御報ヲ乞

(會計検査院)回答 明治二十四年一月十八日(電報)

調定額明細書ハ收入官吏交替ノ時々打切調製ヲ要セス其收入計算書結文ノ次ニ調定官ニ於テ計算書中調定額ノ正確ナルコトヲ記載スヘシ

●作業益金納入手續ノ件問合回答 明治二十四年一月九日

客年七月十七日附第百九八八號御省達作業益金納入手續ニ據レハ收入官吏ニ於テハ全ク現金領收ノ手續ニ依リ取扱

フヘキモノニ候處該益金ハ仕排請求書ヲ受領シタル儘直ニ排込書ヲ添ヘ金庫ヘ納付シ別ニ現金ヲ領收セサル儀ニ付

其仕排請求書ノ金額ハ客年一月勅令第四號第一條ノ取扱金額ニハ算入セサル儀ト相認メ候得共照認無之哉

(大藏省主計局)回答 明治二十四年一月二十二日

收入官吏ノ交付ヲ受ケタル仕排請求書ノ金額ハ勅令第四號第一條ノ取扱金額ニ算入スル儀ト御承知有之度

●給助金支給ノ件ニ付照會回答 明治二十三年十二月十一日

本年十月以降給助金辭令書交付方陸軍省ヨリ御達ノ趣ニ依リ交付取計來リ候處右ニ對スル金額ハ御省ヨリ直ニ御送

金可相成モノト相見込候條至益御回金相成度

(大藏省國債局)回答 明治二十三年十二月二十二日

右辭令書交付相成候節ハ本年當省訓令第十二號第一條ニ準シ支給金額明細書ヲ製シ御縣ヨリ御請求可有之

●歳入概算額ノ件問合回答 明治二十二年四月六日(電報)

二十三年度歳入概算ノ金員ハ四位ニ止ムルヤ

(大藏省)回答

(大藏省主計局) 回答 明治二十二年四月九日(電報) 御見込ノ通

●年度内歳入金主管廳誤謬訂正ノ件問合同答 明治二十三年四月二十六日
本年貴省訓令第六十二號ヲ以テ明治十九年度以降二十一年度ニ至ル所屬ノ歳入歳出金ニシテ科目其他ノ誤謬ヲ發見スルモ本年四月一日以降ハ金庫帳簿ノ訂正ヲ爲サシメサル旨訓令相成リタル處本年度ニ屬スル各省所管ノ歳入金ニシテ納入告知書發行ノ際主管廳名記入ヲ脱漏シ爲ニ金庫ニ於テハ當廳所管トシテ收入満ナルコト後日發見ノ場合ニ於テハ其訂正方ハ從前ノ通金庫へ請求然ルヘキヤ

(大藏省主計局) 回答 明治二十三年五月七日

右ハ其時々金額年月日及金庫名ヲ記載レ取扱方向出相成リ然ルヘシ

●歳出承認額整理簿記載方ノ件問合同答 明治二十二年五月二十九日 (島根縣) 問合

歳入歳出計算記簿規程中歳出承認額整理簿ノ儀ハ毎款各月ニ分額ニ但金庫別ニ登錄方ハ明治二十一年八月六日御省認可簿登記スヘキ成規ニ候處本年度以降經常歳出第一第二部及臨時歳出ノ三部ニ分チ被配布候旨内務書記官ヨリ通牒ノ趣モ有之候ニ付以後登錄方ハ總テ毎主管廳毎部各月毎金庫ニ分額シ整理可然哉

(大藏省主計局) 回答 明治二十二年六月七日

御中越ノ如ク配布セラレタル場合ニ於テハ主管廳毎部各月金庫別ニ口坐ヲ分額整理相成候テ可然

●租税外諸收入報告書中下戻金ノ區畫削除ノ件問合同答 明治二十二年六月十三日 (福井縣) 問合

本年三月二十九日貴省訓令第十六號ヲ以テ歳入過課納下戻金ノ儀ハ年度ノ内外ニ拘ハラズ總テ諸拂戻及缺損金ヲ以テ支出方ヲ委任セラレ候ニ就テハ二十一年三月省令第二號改正ノ第二十號シ書式第二部歳入報告書中下戻額ノ欄内ハ自然不用ニ屬スヘキモノト存候果シテ然ラハ右報告書中下戻金ノ區畫ヲ削除シ差支無之哉

(大藏省主計局) 回答 明治二十二年六月二十一日 右御意見ノ通御取計相成可然候

第百九

豫算外國庫負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

明治二十四年四月二日公布

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十四年四月一日

- 内閣總理大臣 伯爵 山縣有朋
- 内務大臣 伯爵 西鄉從道
- 大藏大臣 伯爵 松方正義
- 陸軍大臣 伯爵 大山 巖
- 海軍大臣 伯爵 樺山資紀
- 文部大臣 芳川顯正

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

第一

沖繩縣下各離島航海費補助トシテ明治二十四年度以降五箇年ヲ期シ毎年七百圓ヲ支出スル

第十一類 第一章 會計 出納

ノ契約ヲ結フコトヲ得

第二

北海道廳札幌農學校ニ於テ新ニ外國人教師ヲ僱入レ明治二十五年一月ヨリ明治二十七年十二月マテ三箇年間ノ期限ヲ以テ俸給月額二千三百五十圓ヲ支給スルノ契約ヲ結ヒ且ツ明治二十七年年度ニ於テ歸國旅費四百五十圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第三

宮崎縣下延岡大分縣境間道路修築費補助トシテ明治二十四年度以降二箇年間ヲ期シ總額貳萬五千八百五拾六圓五拾貳錢六厘ヲ支出スルノ命令ヲ爲スコトヲ得

第四

熊本縣下熊本福岡縣境間道路修築費補助トシテ明治二十四年度以降五箇年間ヲ期シ總額三萬三百四拾圓拾八錢貳厘ヲ支出スルノ命令ヲ爲スコトヲ得

第五

陸軍大學校ニ於テ新ニ外國人ヲ僱入レ明治二十四年度以降三箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額五百圓手當月額百圓馬飼料月額拾貳圓ヲ支給スルノ契約ヲ結ヒ且本契約滿期ノ翌年度ニ於テ歸國旅費千圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第六

海軍兵學校ニ於テ新ニ外國人教師ヲ僱入レ明治二十四年五月十九日ヨリ向三箇年ノ期限ヲ

以テ俸給月額三百五十圓ヲ支給スルノ契約ヲ結ヒ且ツ滿期解僱年度ニ於テ歸國旅費六百九拾七圓三拾錢ヲ支給スルコトヲ得

第七

帝國大學ニ於テ僱外國人教師三名滿期ニヨリ更ニ僱繼キ左ノ契約ヲ結フコトヲ得
一 一名ハ明治二十五年三月八日ヨリ二十八年三月七日マテ明治二十四年度以降滿三箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額四百圓ヲ支給シ契約滿期ノ年度ニ於テ歸國旅費四百圓ヲ支給ス
一 一名ハ明治二十四年十月二十二日ヨリ二十六年十月二十一日マテ明治二十四年度以降滿二箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額三百五十圓ヲ支給シ契約滿期ノ年度ニ於テ歸國旅費七百拾四圓五拾錢ヲ支給ス
一 一名ハ明治二十五年二月十二日ヨリ二十八年二月十一日マテ明治二十四年度以降滿三箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額二百圓ヲ支給シ契約滿期ノ年度ニ於テ歸國旅費六百五十圓ヲ支給ス

第八

第一高等中學校ニ於テ僱外國人教師六名滿期ニヨリ更ニ僱繼キ四名ハ明治二十四年七月十一日ヨリ明治二十五年七月十日迄滿一箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額各貳百圓ヲ一名ハ同期限ヲ以テ俸給月額百五十圓ヲ一名ハ同期限ヲ以テ俸給月額百圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第九

第四高等中學校ニ於テ僱外國人教師ノ滿期ニヨリ更ニ僱繼キ明治二十四年七月二十一日ヨリ明治二十五年七月二十日マテ滿一箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額百五拾圓ヲ支給スルノ契約ヲ結ヒ且本契約滿期ノ年度ニ於テ歸國旅費五拾圓八拾錢ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十

第五高等中學校ニ於テ僱外國人教師ノ滿期ニヨリ更ニ僱繼キ明治二十四年五月八日ヨリ明治二十五年五月七日マテ滿一箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額貳百圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十一

山口縣高等中學校ニ於テ僱外國人教師ノ滿期ニヨリ新ニ僱入レ明治二十四年七月二十五日ヨリ二十六年七月二十四日マテ明治二十四年度以降滿二箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額貳百圓ヲ支給シ且本契約滿期ノ年度ニ於テ歸國旅費貳百參拾五圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十二

東京音樂學校ニ於テ僱外國人教師ノ滿期ニヨリ更ニ僱繼キ明治二十四年九月二日ヨリ明治二十七年九月一日マテ明治二十四年度以降滿三箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額四百圓ヲ支給シ且本契約滿期ノ年度ニ於テ歸國旅費千三百圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

正訂日本類典第二編上卷終

○ 正誤

丁	敷行	誤	正	丁	敷行	誤	正
一	六	其母	御母	五二九	二〇	稟議	稟議
七	七	裁判	裁制	五六〇	三	制服	服制
五九	一七	迄	達	五六八	三	府セス	附セス
一一七	一五	戰ノ下	時ヲ脱ス	五七五	二	查用	費用
一五〇	五	育啞	育啞	六〇五	一三	行下	次行ニ接續
二二七	一三	日限	日根	六一五	表	及	並
二三五	八	給	給	六二九	表外	トノ下	スヲ脱ス
二三八	一五	以テノ下	總テヲ脱ス	七三七	二	返付	送付
二五九	一五	委置ヲ其待遇人數	置キ其待遇人員	七五一	九	便宜	便否
三〇九	一	官長	長官	八二〇	一六	納付書	納付證
三二五	六	四日	二十四日	八七〇	一〇	布	日公布
同	八	議員ノ下	及ハ行	九〇六	九	公日勅令第二	勅令第二
四六八	六	慣行ニ於テ	依テ	同	一〇	ノハ	ノヲ
五二三	一	下拂	下拂	九〇八	一六		

明治二十四年七月十日印刷并出版

版權
所有

發行所

著作者

東京府土族

市岡正一

東京市四谷區荒木町
二十七番地

印刷兼
發行所

兵庫縣土族

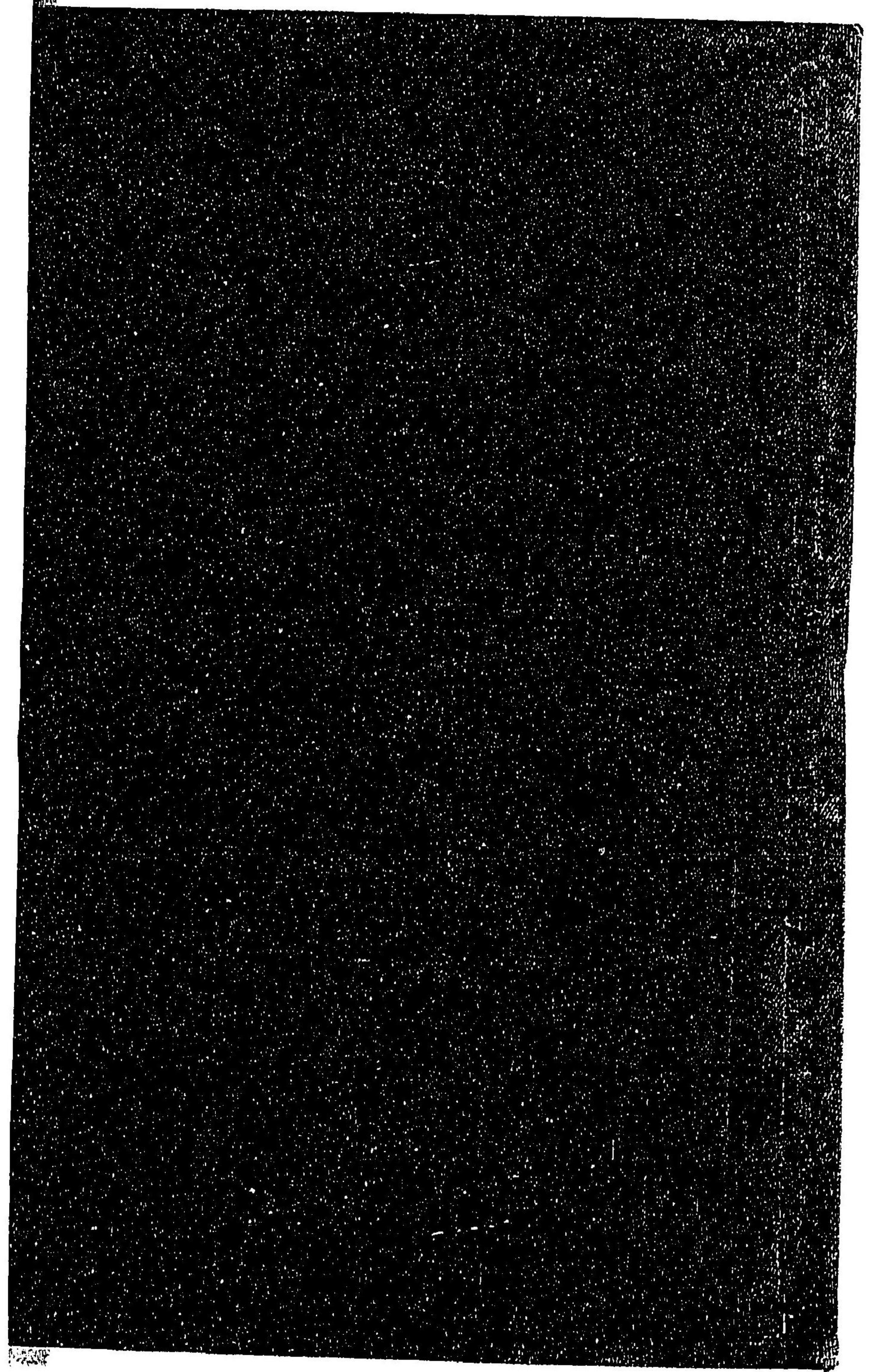
長尾景弼

東京市芝區西ノ久保
茸手町壹番地

東京銀座四丁目
大坂備後町四丁目
千葉縣千葉町
福岡縣博多中島町
佐賀縣佐賀新馬場
兵庫縣龍野町

博聞本
博聞分社
博聞分社
博聞分社
博聞代理店
博聞代理店

14
8
18





禁電子式複写

031065-001-5

CZ-3-016

訂正日本類典

第2編

市岡 正一

長尾 景弼 / 編

M24

BBC-0655



27
228